

報道関係各位

平成 27 年 11 月 16 日  
株式会社ラグーナテンボス

## 株式会社ラグーナテンボス

### 第 2 期（平成 27 年 9 月期）の業績について

株式会社ラグーナテンボス（本社:愛知県蒲郡市）の第 2 期（平成 27 年 9 月期）の業績は以下の通りとなりました。

#### 営業概況

当社は昨年 8 月、複合型マリリゾート施設「ラグーナ 蒲郡」を運営する蒲郡海洋開発株式会社（所在地:愛知県蒲郡市）より、テーマパーク事業、商業施設事業、温泉・スパ事業の 3 事業を継承し、同年 1 1 月から「新生ラグーナテンボス」として本格的にスタートを切りました。

お客様と感動を共有し続けることのできる通年型テーマリゾートを目指し、一つ一つの施設の魅力を徹底的に見直しました。そして主に「新コンテンツの導入」「食の充実」「交通アクセスの改善」に重点を置き、事業の再構築・魅力強化に取り組みました。

「新コンテンツの導入」では、ラグーナテンボス施設全体のコンテンツの充実を図りました。まず、「新生ラグーナテンボス」の象徴として日本初の演出を取り入れた 2 つのプロジェクションマッピング（昨年 11 月～）をラグナシアにて実施しました。この「日本初！2大3D マッピング」はお客様に高い評価を受け、昨年 1 2 月から今年 2 月のラグナシア月別入場者数は 3 カ月連続で過去最高を記録しました。他にも直径 1 6 m の日本最大の円形スクリーンに実写 3 D 映像を投影する「avex 3 6 0° 3 D シアター」（7 月～）の導入や、隣接する大塚海浜緑地（ラグーナビーチ）には日本最大、高さ 1 6 m を誇るエアースライダーを含めた全 1 0 種のエアースライダーを設置した「ビーチパーク」（4 月～9 月）、商業施設「フェスティバルマーケット」にはハウステンボスでも好評を博した人気アニメ「ワンピース」に登場する海賊船「サウザンド・サニー号」を模した 2 5 0 人乗り客船によるクルーズを導入（7 月～）するなど、施設全体で従来のコンテンツとは異なる魅力づくりを行いました。

「食の充実」においては、ハウステンボスで人気のイタリアンレストラン「ピノキオ」（昨年 1 1 月～）を始め、地産地消をコンセプトに地元のブランド牛「みかわ牛」を使ったステーキハウス「ブルーラグーン」（6 月～）、人気パティシエの鎧塚俊彦氏がメニュー監修を務めるスイーツカフェ「ラルブルヴェール」（6 月～）の 3 つの直営レストランをラグナシア内に新規オープンしました。これにより良質な空間でのワンランク上の食事提供と、原価率の改善を実現しました。

「交通アクセスの改善」においては、蒲郡駅からラグーナテンボスへの無料シャトルバス（昨年 1 1 月～）を 1 時間に 2 便（繁忙期は 1 時間に 4 便）、自社にて運行し、1 年間で約 8 万人のお客様にご利用いただきました。

温泉・スパ事業においては、「ホテル ラグーナ ヒル」全室に既存施設「ラグーナの湯」の源泉を給湯し（4月～）、プライベートな空間でも天然温泉をお楽しみいただける様サービスを向上させました。また、「ラグナシア」のイルミネーションや先述のプロジェクションマッピングなど夜間イベントの充実により、宿泊需要が高まり客室稼働率が上がりました。

以上の取り組みの結果、ラグナシア（テーマパーク）の入場者数は801千人（前年は756千人）、前年比106%、3事業を含めた当期の取扱高は4,351百万円、営業利益402百万円、愛知県蒲郡市からの運営事業支援交付金（交付金収入274百万円）含めて、経常利益682百万円となりました。

## 記

### (1)第2期 年度業績について

#### ■収支概要について（3事業含む）

（単位：百万円）

	第1期（決算期変更に伴う変則決算） 2014.8月—2014.9月	第2期 2014.10月—2015.9月
売上高(取扱高)	1,368	4,351
営業利益	213	402
経常利益	213	682

### (2)第3期（平成27年10月～平成28年9月）通期見込数値について

- ・ラグナシア入場者数      960 千人      （前期比 120.0%）
- ・売上高(取扱高)          5,502 百万円      （前期比 126.5%）
- ・営業利益                  526 百万円      （前期比 130.8%）
- ・経常利益                  801 百万円      （前期比 117.4%）

以上